

平成29年春ダイヤ改正の会社提案説明を受ける

12月16日、地本は、会社から「平成29年春ダイヤ改正」について提案を受けました。

平成29年春ダイヤ改正は、ダイヤに関しては静岡地区で変更がありました。名古屋地区内では変更はありませんでした。部内での変更は口答で5件ありました。組合から内容について具体的に質問をしながら議論を行いました。

地本は、提案の解明要求と各職場からの要求をまとめ早急に申し入れを行っていきます。

平成29年春ダイヤ改正実施時期 平成29年3月4日(土)

会社への要求集約日 平成28年12月26日(月)

・運用面での変更の内容

1. 現在の名古屋駅の車両帯泊（2列車）を熱田駅帯泊とする。

(組合)理由は何か。

(会社)名古屋駅での夜間工事の合間を確保するためである。

(組合)熱田駅乗泊はどこに作るのか。

(会社)現行の駅設備の空室を使用する。

(組合)駅には小さい風呂しかないので、使用時間を調査し調整すること。

(会社)一度調査する。

(組合)泊行路はどここの区が持つのか。。

(会社)大垣運輸区と名古屋運輸区で1行路つつである。

2. 飯田線辰野駅、伊那大島駅の帯泊を伊那松島駅と飯田駅への帯泊に変更する。

(組合)理由は冬期対策か。

(会社)異常時対応である。伊那松島駅は運輸区の管理者が対応できるし、飯田駅では検修社員の派遣がしやすいからである。

3. 高山線でワンマン列車の拡大及び編成の見直しを行う。

(組合)具体的に説明すること。

(会社)1718Dをワンマン列車にし、1725D、740Dを4両編成から2両編成に変更した。

4. 区所の行路の見直しを行う。

・豊橋運輸区

(会社)豊橋運輸区の現行飯田線組2・東海道線組2に飯田線と東海道線込み組を作り合計5組とする。

(組合)理由は何か。

(会社)中堅どころが飯田線組に長期に乗務することの東海道線乗務への不安解消である。

(組合)1行路の中で飯田線、東海道線を運転するのか。

(会社)1行路では飯田線は飯田線、東海道線は東海道線の運転となる。

・名古屋運輸区

(会社)名古屋運輸区では運転士EC4組の17日周りを20日、EC・DC組を20日周りから17日にする。また、車掌B2組を17日から11日、B3組20日を23日、B4組17日を20日にする。

(組合)理由は何か。

(会社)DCの運転士が減少しているためである。車掌は女性の施設のための対応である。

・伊勢運輸区

(会社)名松線組に多気～新宮の列車を入れた。

(組合)理由は何か。

(会社)中堅どころが名松線組に乗務しているため操縦者を行うときの不安解消である。また、伊勢市駅の入換、回送の運転を見直すことにより要員を1名減とした。

・中津川運輸区

(会社)異常時対応のために春日井駅から神領車両区への入出区行路を作る。

5. 施設の新設と廃止を行う。

(会社)先ほども説明したが、熱田駅に乗泊設備を作る。辰野駅・伊那大島駅の乗泊を使用廃止する。また、高山駅(上りホーム)に乗務員休憩室を新設する。

・その他のやりとり

(組合)今回は大きなダイヤの変更がない中で乗務員行路の変更を行ったわけだが、この間私たちが主張していた①睡眠時間の確保②明けの連続乗務の見直し③明け時間を早くするについて考慮して行路を作成したか。

(会社)行路を見てもらえば分かる。

(組合)女性設備の拡大は考えているのか。

(会社)考えていない。

(組合)女性のDC運転士養成は考えているのか。

(会社)DC持ち区の設定が整備されていないので、考えていない。

(組合)車両運用、運転時分の見直しは行ったのか。

(会社)例えば2706Fを6両から8両編成にしたり、1007M長野管内での行き違い箇所を変更した。細かい運転時分の見直しはしている。

(組合)車両の老朽化や冷房装置の不具合などがあるが新車導入は考えていないのか。

(会社)考えていない。

(組合)細かい変更はあるが、お客様に伝えるものがないダイヤ改正である。詳細は持ち帰り検討し、期間がないが各職場からの要求をまとめ申し入れを行なう。

以上